

合同防災勉強会（水害）におけるテーマ 「行政の現状の取り組みと今後の取り組み」に関する議事録

- 1 日 時 令和元年 11 月 3 日（日） 19 : 00 ~ 21 : 00
- 2 場 所 山王会館（日枝神社境内）
- 3 出席者 上丸子山王町二丁目町会：山川町会長、本木防災部長
上丸子山王町一丁目町会：小金井町会長、小金井防災部長 他：176名
川崎市上下水道局：下水道計画課 課長 室井、課長補佐 端谷、担当係長 奥村
中部下水道事務所管理課 課長 松原、維持係長 福田、主任 中村
- 4 質疑応答の内容
 - 浸水対策軽減案（排水区をバイパスする案）関連
 - 質問 設計から工事まで時間がかかりすぎではないか。
 - 回答 今年度基本設計を進めており、出来る限り早くできるように検討します。
 - 山王排水樋管関連
 - 質問 河川水位との関連を含めて何時にゲートを閉めようとしていたのか。また、なぜ閉められなかったのか。
 - 回答 山王排水樋管のゲート操作につきましては、操作手順に従い、降雨がある場合や大雨警報が発令されている等、降雨の恐れがある場合はゲートを全開にすることとなっていることから、10月12日11:30および15:00の時点で閉鎖を行いませんでした。
 - 質問 マニュアルがおかしい。逆流の恐れがあったらゲートを閉めるしてほしい。
 - 回答 ゲート操作については手順通りに行いましたが、今後検証していきます。また、検証した中で被害の最小化を目指していきます。
 - 質問 なぜゲートを閉められなかったのかについて説明してもらいたい。
 - 回答 当日の活動記録について別紙資料により説明
 - 質問 15時にゲート操作を行わなかった総合的判断とはなにか。
 - 回答 多摩川の水位、今後の雨量予測、ダムの放流量、丸子ポンプ場の状況などを踏まえて総合的に判断します。
 - 質問 今回の判断はマニュアルに沿って行ったと思うが、正しかったのか、間違いだったのか。
 - 回答 手順通りの操作という点では適切であったと考えておりますが、今後検証していきます。
 - 質問 マニュアルはいつ・だれが作成したのか。
 - 回答 資料等を確認した上で19・20日の説明会で説明します。
 - 質問 ゲートを作る時は必ず操作規定を作るのではないか。
 - 回答 操作要領、手順は定めています。

質問 上丸子山王町付近の降雨だけを考えるのではなく、多摩川の上流域での雨が影響することを考えていないのか。

回答 上流域での降雨のことを踏まえて下水道事務所でも管理してきましたが、今回の災害については重く受止め、検証を行い対策を検討します。

質問 この地区の下水は合流式と聞いているが、下水に流れる汚水と雨水の割合を教えてください。

回答 合流式下水道では、雨天時の汚水は雨の量に比例して希釈されていきます。

質問 南武沿線道路の中央分離帯と沿道にまだ汚泥が残っている。近くに保育園もあり不安である。

回答 上下水道局から道路公園センターに早急に伝えます。(11月4日に清掃を実施)

○ その他質問・意見等

- ・新聞によればゲート閉鎖に12時間かかっているとある。普段整備していればこんなことにはならなかったはず。
- ・平成29年の浸水被害を受けて、ゲートを開けたままでは冠水することは分かっていたはず。当時、9戸が床上浸水となっていて、全体で14戸が浸水被害を受けている。今回で2回被害を受けている方たちがいる、教訓になっていない。なぜ、今回、逆流を確認したときにゲートを閉じなかったのか。
- ・世田谷区はゲートを閉鎖したが、なぜ東京と川崎で違うのか。
- ・国は逆流があったらゲートは閉めると言っている。
- ・明日、降雨があったらどうするのか。
- ・なぜピーク水位を過ぎた後にゲート操作を開始したのか。なぜこんなに遅いのか。本来、避難判断水位A.P7.6mで閉めるべきではないのか。
- ・ゲートを閉めれば多摩川からの泥は入らない。雨だけで浸水するのであればやむを得ないのでゲートは閉めてほしい。
- ・今回の台風では鶴見川は全く氾濫しなかった。多摩川においては、東京都のダムの放流が水位上昇に大きく影響を与える。今後、東京都と調整すべき。

5 要望事項

- ・19日、20日の説明会ではキチンと回答できるよう、責任のある方に出席してほしい。
- ・総合的判断についてしっかりと説明すべき。
- ・今回の勉強会で出た質問等については、議事録を作成し配布してほしい。

以上